

講義名称	新短ワークプロジェクトB	担当教員名	駒田 純久
科目群			
科目区分等		単 位	2
対象学年次		ナンバリング	

授業のキーワード	課題解決学習（PBL）社会人力養成、キャリア
授業の概要	学生のグループが主体となり、短大と連携する企業とのプロジェクトに参加し、課題の発見や解決に向けた調査・分析の実施、解決策の提示といったさまざまな活動に取り組みます。DP1.2.4の達成に関与します。
期待される学習成果（目標）	1. 社会人として必要なマナーが身につきます。 2. 実際の仕事の現場で活動することで、自分なりのキャリア観を構築します。 3. コミュニケーションの仕方、協業作業などの実践力が身につきます。

授業展開

回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の概要と評価方法について説明します。履修を考えている人は必ず出席してください。
2	プロジェクト紹介	今年度実施する6つのプロジェクトについて、活動内容を紹介します。
3	プロジェクト紹介	プロジェクトの活動内容についての紹介とグループワークの練習をします。
4	プロジェクトの決定	参加するプロジェクトを決定します。グループで自己紹介・活動内容の検討をはじめます。
5	プロジェクト活動の基礎	各プロジェクトごとに活動のスケジュール・グループでの活動ルールについて決めます。
6	マナー研修	社会人としての基礎的なマナーを学びます。
7	プロジェクト活動の開始	後半は各プロジェクトの活動スケジュールによります。
8	プロジェクト活動	後半は各プロジェクトの活動スケジュールによります。
9	プロジェクト活動	後半は各プロジェクトの活動スケジュールによります。
10	プロジェクト活動	後半は各プロジェクトの活動スケジュールによります。
11	プロジェクト活動	後半は各プロジェクトの活動スケジュールによります。
12	プロジェクト活動	後半は各プロジェクトの活動スケジュールによります。
13	中間報告会（予定）	これまでのプロジェクト活動（予定）について発表します。
14	プロジェクト活動	後半は各プロジェクトの活動スケジュールによります。
15	プロジェクトのまとめ	休み期間に活動するグループは予定を確認します。

定 期 試 験	定期試験は行いません。
授 業 時 間 外 学 習	事前学習としての課題研究（5時間） プロジェクト活動にむけた準備（5時間）
評 価 方 法	事前学習への取り組み（20%）、毎週の活動報告書（20%）、プロジェクトについての報告（20%）、報告会での発表（20%）、個人の活動レポート（20%）から評価します。
使用する教科書（必ず購入してください）	適宜指示します。
参 考 文 献	青島矢一『経営学入門』東洋経済新報社。 アダム・グラント『THINK AGAIN』三笠書房。